

◇ 教育目標 及び 教育方針

1. 学校経営

[1] 校訓

『敬愛・明朗・責任・協力・自主・勤労』

[2] 学校教育目標

- (1) 生命・人権を尊重し、思いやりのある生徒の育成
- (2) 自ら学び、判断し、責任をもって行動する生徒の育成
- (3) 相互に協調し、勤労を尊ぶ生徒の育成

[3] 教育方針

- (1) 人間尊重の精神を基本として、教師と生徒、生徒相互の温かい人間関係を推進する。
- (2) 生徒の学力の向上をめざし、特色ある教育課程の編成を推進する。
- (3) 生徒指導の充実をめざすとともに、部活動、生徒会活動を柱に自治能力育成を推進する。
- (4) 家庭、地域、小学校との連携を密にして、生徒の健全育成や「安心・安全」対策を推進する。

[4] 重点努力目標

(1) 学力の向上

- ① 授業規律の充実、自発的な家庭学習の定着などの取り組みで「学びの習慣」を育成する。
- ② 教師の授業力向上のための工夫改善、朝学習「静」の体感（身体的自我）を徹底、机の整頓・教室の美化等学習環境整備により「学びの意欲」を育成する。
- ③ 学力調査等の理解度の評価・分析・対応や高中テキスト・高中検定を活用した、きめ細かな指導に取り組む。また、教科部会の充実に努め「学びの能力」を育成する。

(2) 生徒指導の充実

- ① 不登校生の減少や好ましい生徒同士の人間関係を目指すために、Q U調査を分析・活用し、教職員が組織的にていねいに対応する。
- ② 問題行動に迅速に対処するため、組織的体制と関係機関との連携を深め対応する。
- ③ 学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動を通して、生徒の自主性と自律心を育てる。
- ④ 思いやりのある行動が実践できる生徒の育成を目指し、道徳教育を充実させる。
- ⑤ キャリア教育を高校進学指導だけの考えではなく、特別活動や総合的な学習の時間の教育課程に位置づけて実践する。
- ⑥ 保健・健康教育を教育活動の教科等の指導計画に位置づけて実践する。

(3) 特色ある学校づくり

- ① 本校の校訓『敬愛・明朗・責任・協力・自主・勤労』から『協力』を重点とし、
 - ・いじめを「協力」により、無くし安心な学校にする。
 - ・学習スタイルにグループ学習を取り入れ、学びあう「協力」により、生徒が主体的に参加し、存在感のあるものにする。
 - ・学校行事を「協力」により、充実感のあるものにする。
 - ・部活動を「協力」により、チームワークがとれ全力が発揮できるようにする。
- ② 本校区の小中一貫教育を土台に「金沢型学習スタイル」を参考に高中スタイルを確立し、共通理解・実践を行う。そのためにカリキュラムマネジメントを十分に行い、高中スタイルにおいて、課題の発見と解決に向けた主体的・協働的な学習（アクティブ・ラーニング）などを取り入れ、言語活動の充実を重視し、考えてわかる授業づくりを目指す。
- ③ 授業を含めた教育活動全体において、生徒同士の関わり合いを大切にするため、キャリア教育・学習指導・生徒指導を柱に学校研究を行う。
- ④ 生徒作品の掲示などにより、温かみや一人ひとりの存在感が感じられる「学舎」をめざし、学校環境整備を充実させる。